



今回紹介
するのは

介護の現場で働く職員紹介！

デイサービスセンター

にじの家くさつで働くNさん

デイサービスセンターにじの家くさつは草津市野村にある認知症の方のケアに特化したデイサービスです。認知症になっても住み慣れた地域で自分らしくゆっくり過してもらえよう支援しています。

「とことん寄り添う」という理念のもとご利用者様はもちろんご家族様の思いにも寄り添っていきたいと思っています。

にじの家はど
んなところ？



長年介護の仕事をする中で、認知症の方や
そのご家族様との関わりが多かったようで
すね。認知症に関する捉え方やご家族様の
変化など感じることを教えてください。

認知症は、一昔前は、痴呆と言われ偏見もありました。しかし現在は脳の病気としてとらえられるようになってきています。

認知症は、お薬以外に環境を整えたり、その方に接する時の対応で進行を遅らせることもできる病気です。最近は男性の介護者が増えてきている印象です。

素敵なエピソードをご紹介します！

徘徊のある利用者Aさんは、目の前のご主人が認識できず、ご主人を探しに外へ行かれることがあります。

その時は、奥様の父になりきり奥様が安心できるよう

な声掛けや一緒に探しに行くことをされるそうです。ご主人いわく「彼女なりの目的があり、人を探しているので徘徊とは違うと思っている。そういう状態の時は役になりきって彼女が安心できるように演技している」と仰ってました。そういった家族さんと接する中で、専門職として考えさせられるとともに、心がほっこりしました。もちろん、対応だけでは上手くいかないことも多く、ストレスを抱えておられるご家族さんも多いのも現状です。認知症を持つ人を一人の人として尊重し、その人の立場に立って考え、ケアを行おうとするケアは『パーソン・センタード・ケア』といい認知症の方と接する中で大切なケアの一つです。今回ご紹介したエピソードもまさしくそれを実践されているご家族様でした。介護を一人で抱えず、その利用者さんにとって何が良いのかご家族様とも一緒に考えケアしていきたいと思っていますので是非困った時はご相談ください。困ってなくてもくつろぎに来てほしいと考え12月に介護カフェを開催したいと思います。詳細は、次号で案内いたします。

チェアヨガ教室開催 11月22日(火)14時から にじの家サロンにて